

生きるために  
笑いまっしょ。

# 福島を描いたドキュメンタリー映画の決定版 3時間45分-800日間の記録

## 苦しみをのり越えて 新たな挑戦が始まる

2011年3月12日… 福島第一原発事故の取材現場に駆けつけた二人のフォトジャーナリストは、いち早く撮影を開始。以来、2013年4月まで、その土地の人々とともに過ごした日々を記録し続けた。絶望の淵からの試行錯誤、もがきの中で気づいた家族、仲間、奪われた故郷への思い、そして見えてきた本当に守るべきものの存在… 3年にわたり記録された250時間の映像が、3.11後の今を生きる私たちに問いかけるものとは――

豊田直巳 (共同監督/取材・撮影)

1956年生まれ。イラクやパレスチナなどの紛争地を巡り、劣化ウラン弾問題やチェルノブイリを取材。新聞、雑誌やテレビで報道。平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞。近著に『フクシマ元年』(毎日新聞社)、『フォトルポルタージュ 福島 原発震災のまち』(岩波書店)他。

野田雅也 (共同監督/取材・撮影)

1974年生まれ。チベットの核実験場をはじめアジアの紛争地や災害現場を取材。『正しい報道ヘリの会』では宮前前デモなどを空撮。DAYS JAPAN 国際ジャーナリズム大賞特別賞。共著に『3・11 メルトダウン』(凱風社)他。共に日本ビジュアル・ジャーナリスト協会(JVJA)会員。

(編集)安岡卓治 (編集助手)吉田拓史 (編集協力)濱口文幸記念スタジオ (製作助手)片岡和志 (音楽)任キョンア (音楽協力)大瀧統丈 榎オリホ トーン・ミュージック エンターテインメント (助成)高木仁三郎市民科学基金 (製作協力)日本ビジュアル・ジャーナリスト協会 / 国際交流NGO ビースポート / フォーラム平和・人権・環境 / 原水爆禁止日本国民会議 / 自治労 / 自治労 関東甲 / 生活クラブ生活協同組合 / 信原孝子 (製作・配給)映画「遺言」プロジェクト (配給宣伝協力)JapanDocs 澤口佳代

映画「遺言」プロジェクト

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-21  
静和ビル2A 淡路町事務所気付  
TEL 070-5468-1430 FAX 03-6736-0282  
info@yuigon-fukushima.com



### 自主上映会をしてみませんか?

映画「遺言 原発さえなければ」の自主上映も受付けています。みなさんの力で上映を全国に広めてください。自主上映会は2014年8月1日から開催できます。

詳細、お問合せはこちら→ [jouei@yuigon-fukushima.com](mailto:jouei@yuigon-fukushima.com)

[www.yuigon-fukushima.com](http://www.yuigon-fukushima.com)

応援しています。

鎌田慧 (ルポライター)

落合恵子 (作家)

森達也 (映画監督/作家)

高橋哲哉 (東大大学院教授)

吉岡達也 (ビースポート共同代表)

吉岡淳 (カフェスロー代表)

渡辺一枝 (作家)

日時 **2014年10月8日(水)** ※映画上映&監督トーク同時開催

会場 立命館大学 衣笠キャンパス 13:00~16:45 映画上映  
以学館2号ホール 17:00~18:00 豊田直巳監督のトーク  
開場 12:30

主催:立命館大学人文科学研究所「暴力からの人間存在の回復」研究会 / 共催:立命館大学国際平和ミュージアム  
問合せ:立命館大学人文科学研究所 / Tel:075-465-8225 E-mail:jibun@st.ritsumei.ac.jp

入場  
無料

事前申込不要